

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	36602	
事業名	相談支援パートナー事業費						
評価担当課	所 属	教)学校教育部 教育推進課			電話番号	011-671-3249	
施策名	支援や配慮が必要となる子どもや家庭が、困難な状況に応じた適切						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外						
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費			
	● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他						
事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	不登校やその心配のある子どもに対する学校における支援の充実が課題となっていたため、平成24年度から「心のサポーター配置モデル事業」として、相談支援パートナーを中学校に配置してきた。平成27年度からは、「相談支援パートナー事業」と名称を変更し、継続実施してきた。不登校の低年齢化は進んでおり、年々、小学校における不登校児童数が増加している。そのため、小学校においては、不登校になる前、つまり遅刻や登校渋りなどの傾向が見られる初期段階において、迅速かつ丁寧な支援が必要となっている。					
	事業内容(何を実施し)	不登校やその心配のある子どもに対し、一人一人の状況に応じたきめ細かな支援を行うために、小中学校に相談支援パートナー等を配置し、不登校の状況改善や早期対応の充実に向けた取組を推進する。					
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	不登校やその心配のある児童生徒の学校復帰や不登校状況の改善、不登校の未然防止や早期対応の取組の充実。					
	他都市の状況	岡山市、広島市、福岡市への調査では、本市の事業と同様に、地域に根ざした多様な人材を活用し、不登校及び不登校傾向にある児童生徒への対応を行っている。					
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外					
	令和4年度決算額	112,194 千円	うち特定財源	78 千円	正規職員業務量	2 人工	
令和5年度予算額	120,000 千円	うち特定財源	98 千円	正規職員業務量	2 人工		
令和5年度決算額	111,198 千円	うち特定財源	112 千円	正規職員業務量	2 人工		
令和6年度予算額	228,000 千円	うち特定財源	105 千円	正規職員業務量	3 人工		
指標	アウトプット活動指標1	相談支援パートナー等が不登校児童生徒に支援を行った割			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		35%	40%	34%	45%	50%	55%
	↓						
	アウトカム成果指標1	支援により不登校状況に改善が見られた児童生徒の割合			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		81.30%	85%	80.00%	85%	85%	85%
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	支援を受けた不登校児は前年度より増えたが、最近の不登校児の増加と、相談支援パートナーが対応できる人数や活動時間数にも限界や制限があるため、昨年度と同程度の数値に留まった。					
	アウトプット活動指標2				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
指標2の評価、未達理由、今後の考え方							
今年度の見直し内容	不登校の対応だけではなく、未然防止や早期対応についての重要性にも目を向け、全小学校へ相談支援パートナーを配置するとともに、事業内容の効果検証に努める。						
来年度以降の方向性	事業内容の効果検証を踏まえ、相談支援パートナーへの研修等を充実させ、より効果的に事業を運営する。						